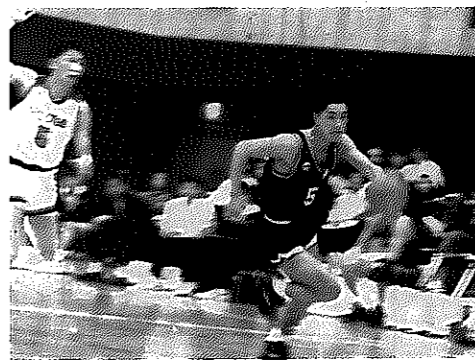
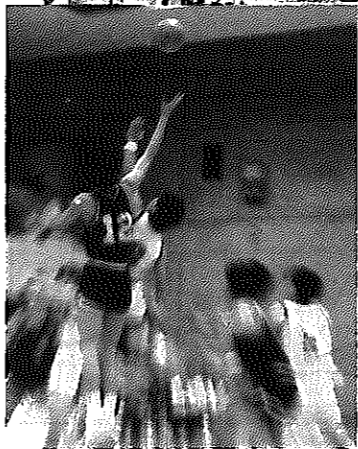


スピーディーな攻防で観衆を魅了

第二回スポーツフェスティバルが二月二日、日立電線と筑波大学の男子バスケットボールチームを招き、カルチャーセンターで行われました。スポーツフェスティバルは、国内の各種スポーツのトップレベルの選手を招き、市民から生の迫力を楽しんでもらうもの。午前中はバスケット

ボール教室が、午後からは日立電線と筑波大学の対抗戦が行われました。バスケットボール教室は、小中学生を対象に、筑波大学の笠原成元監督が指導。笠原監督は、オリンピックの監督も務めたことがあります。二時間にわたって、いろいろなターンの練習を熱心に指導しました。

午後からの対抗戦には、一千人を超える観衆が集まりました。試合前の練習では、長身選手が見せるダンクシュートに拍手が沸きます。試合は、筑波大学が前半を二十八対二十二とリード。後半、日立電線も反撃し、一時は一点差まで詰め寄りましたが、結局六十五対五十四で筑波大学が勝ちました。



バスケットボール教室

新生白根市農協が発足

市内四農協が合併した「白根市農業協同組合」が二月一日、正式に発足しました。新生白根市農協は市内一円が範囲。長年の懸案であった「行政一農協が、いよいよ実現した」となります。

この日は、同農協ドリームホールで役員全員が出席し、辞令交付式が行われました。式ではまず、細河組合長が「一市一農協となることで、組合員からは大きな期待が寄せられている。合併のメリットは多くある。しかし、われわれ役員が努力をしていかなければ、このメリットを生かすことができない。組合員のため、地域社会に貢献する農協となるため、誠意を持って励んでほしい」とあい

さつ。その後、役員が紹介され、職員へ辞令が交付されました。

また、来賓あいさつで滝沢市長は「今日は皆さんにとっても白根市にとっても、記念すべき歴史の日である。一市一農協を目指してから二十五年目の実現で、合併に努力してきた先輩諸氏も大変喜んでいられる。今後は農協と行政が一つの目標を定め、農政を展開していくことが重要である」と祝辞を述べ、大きな期待を寄せていました。

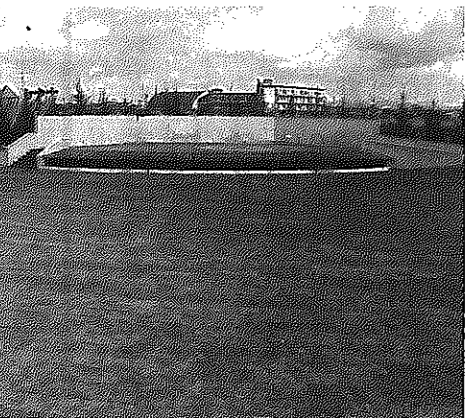


新生白根市農協は、本所事務所を旧白根市農協本所に置き、九支所(新飯田、庄瀬、鶯巻、白井、大郷、根岸、白根、小林、茨曾根)五事業所(鶯ノ木、笠巻、戸石、白根、大通)でスタート。正組合員戸数二千九百五十五戸(県内第十三位)、貯金平均残高二百三十三億三百八十万円(同十二位)、販売品販売高九十五億九千七十九万円(同三位)の規模となります。

特別職の報酬を 審議会が答申

白根市特別職報酬等審議会(渋川善太郎会長・委員十人)が二月二十三日と二月三日に市役所で開かれました。同審議会は、市長など特別職の報酬額改正について審議。二月五日滝沢市長に答申しました。

答申では、特別職の報酬等について「特別職の報酬等の額は、県内二十市中依然として低い位置にあり、一部の近隣町村をも下回る状況である」とした上で、「財政事情、住民感情等を十分配慮しながら、市民の理解が得られる範囲の改正額」として答申しています。答申の改正額は表のとおりで、三月の定例市議会にて提案される予定です。



総合公園に催し物広場完成

白根総合公園内に建設していた「催し物広場」が完成しました。広場全体の面積は、五千五百五十平方メートル。野外ステージと芝生広場を備えます。総事業費は三千二百万円。供用開始は、四月一日からの予定です。

催し物広場は、市民のいろいろなアイデアで気軽に使ってもらい、文化活動や交流の場として利用してもらうのが狙い。野外ステージを利用した集会やコンサート。お祭り、パザール、展示会などにも利用できます。また、野外ステージには、電源やスポットライトも用意。夜間でも使用できます。星空を見ながらのコンサートや映画会など、今まで実現できなかった夢が可能になります。利用方法は、今後広報紙でお知らせします。また、市ではオープンイベントを五月に予定しています。

	現行報酬額	答申報酬額	引き上げ額	改定率
市長	721,000	754,000	33,000	4.58%
助役	554,000	579,000	25,000	4.51
収入役	494,000	519,000	25,000	5.06
市議会議長	316,000	336,000	20,000	6.33
副議長	261,000	281,000	20,000	7.66
議員	240,000	260,000	20,000	8.33

適用は平成4年4月1日から